

令和3年度事業報告書概要（東京国際クルーズターミナル）

指定管理者：東京国際クルーズターミナルグループ

1 管理状況

○ 適切な管理の履行

・ 人員配置

館内に管理運営、警備、清掃、設備を担うスタッフが常駐し、お客様対応、施設の不具合などに適切かつ迅速に対応。客船寄港時は乗船客数やシャトルバス運行状況に基づき、警備員を柔軟に配置。

また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、多くの来館者が予想される土日祝日・客船寄港日などは、館内入口での検温・手指消毒対応要員として警備スタッフを増員するとともに、臨時閉館期間においては、管理方法にメリハリをつけ、常駐スタッフの配置を最小限とするよう対応。

・ 施設の維持管理、補修、修繕等

管理運営、警備、清掃、設備を担う各スタッフによる施設巡回を毎日実施し、発見した不具合箇所や安全管理上必要な施設修繕等について迅速に対応。

・ 警備

警備スタッフによるモニター監視、窓口対応、巡回警備を適切に実施。

東京2020大会開催に伴う警備強化として、24時間体制での有人警備対応、巡回回数の増加、不審物対策及び監視カメラモニタの増強を実施。

・ 清掃

日常、定期清掃を計画的に着実に実施。窓の重点的な清掃実施（当初事業計画で年4回以上⇒12回実施）及び計画外の清掃実施（台風通過後や強風発生時の洗浄、鳥糞被害対応、館内ソファ清掃等）により美観を維持。

○ 安全性の確保

・ 防災・防犯体制強化に向けた取組

発災時に迅速かつ適切に対応できるよう、緊急時アクションマニュアルを整備し館内関係者と定期的に共有。自衛消防訓練、災害対応訓練を適切に実施。

東京湾岸警察署主導の東京湾岸パートナーシップへの参加により、臨海地域一体となった防犯体制の構築に貢献。

・ 施設・設備の安全性の確保に向けた取組

安全管理に関する都からの指示を受ける前に対応。震度4以上の地震発生時には、迅速に施設点検を実施し、東京都に報告。連絡橋上の鉄板のズレの補修を直営で実施、翌日には復旧させ、一般来館者の動線の安全性を確保。

施設の立地特性を考慮し、強風時対応について、デッキ部閉鎖に係る基準の策定等、詳細に整理。

・ 資格取得者、救急用品の適切な配置

自衛消防技術認定及び上級救命技能認定の資格取得者を配置。AEDを3基設置し、日常点検で稼働状況を確認。災害対策備品の整理及び在庫数確認を実施し、館内関係者で共有。

2 事業効果

○ 事業の取組

・ 客船受入れのための関係者調整

客船寄港前に、船舶代理店等関係者と受入会議を開催し、施設使用箇所及び時間等の事前確認や新型コロナウイルス感染症対策等、受入れに向けた緊密な調整を実施。

客船の本格的な運航再開を見据え、東京都とともに、システム等を用いた車両誘導オペレーションの効率化を検討する等、円満な受入オペレーションに向けた準備を継続的に実施。

・ 広報活動

「東京ロケーションボックス」への登録により、映像制作会社等へのPRとして活用。

小中学校による社会科見学の積極的な受入れを実施。

○ 施設の魅力向上

・ 客船寄港時における魅力向上への取組

外航船寄港に向けて、外貨両替機やコインロッカー設置に向けた調整、並びに大型客船寄港時のポップアップショップの導入検討を実施。

・ 客船寄港時以外の魅力向上への取組

客船寄港数が予定より減少する中、イベントや撮影等による施設の利活用を積極的に実施（イベント18件、撮影46件に対応）。

年間100件以上にも及ぶロケハンに丁寧に対応するとともに、対応内容及び相手先をリスト化し営業活動に活用。

・ 利用の状況

寄港時の乗下船客366人

※新型コロナウイルス感染症拡大により客船寄港がキャンセルされたため、寄港客船はにっぽん丸2回のみ。

一般来館者総数 12,012人

※新型コロナウイルス感染症による閉館期間は令和3年4月1日～6月20日（緊急事態宣言）、令和4年1月11日～3月21日（まん延防止等重点措置等）

○ 利用者の反応

・ アンケート実施状況

一般利用者（回答数72枚）、一般施設利用団体（イベントや撮影等）（回答数21枚）及び船舶代理店（回答数1枚）にアンケートを実施。概ね高い評価を獲得。意見を踏まえ、可能な範囲で改善策を講じ、対応。

○ 行政目的の達成

・ 都及び関係機関との連携、実施施策への協力

ドイツ軍艦バイエルン寄港（11月）に際し、警備体制を強化したほか、直前までスケジュールが確定しないなど調整が難航する中、港湾局を始め、防衛省、ドイツ大使館、警察など多くの関係者と綿密に調整を重ね、受入れを実施。その他、検疫所主催感染症措置訓練（10月）や無人運行船寄港イベント（2～3月）等においても、東京都及び関係機関と連携し、準備、設営及び運営等に協力。

また、新型コロナウイルスの感染状況に応じた閉館等の要請や指示についても、東京都と連携し柔軟に対応。

さらに、東京2020大会の開催に向けた館内装飾に係る館内工事調整、ユニークベニューショーケースイベント（2月）の開催、文化庁による文化発信事業など、東京都やその他団体の様々な実施施策に協力。

・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対応

施設の感染症対策マニュアルを作成しHPに公開。また、イベントや撮影利用時においては、利用者側の感染対策を事前に提示させ確認を実施。

3 収支状況（単位：千円）

項目		金額（税込）
収入計		417,284
内訳	指定管理料	391,573
	利用料金	25,711
支出計		342,483
収支差		74,801